

<b>〔科目名〕</b> 調査と統計	<b>〔単位数〕</b> 2 単位	<b>〔科目区分〕</b> 地域みらい科目 必修
<b>〔担当者〕</b> 飯田 俊郎	<b>〔オフィス・アワー〕</b> 時間:研究室のドアに表示 場所:1202 研究室	<b>〔授業の方法〕</b> 演習
<b>〔科目の概要〕</b> 質問紙調査のデータを用いた統計分析の演習を行います。今年のテーマは「大学生活は楽しいか?」です。科目担当者が過去に4つの大学で行った同様の調査の結果と、青森公立大学地域みらい学科の結果を比較します。また、新規の調査項目の案を受講生から募り、青森公立大学の特性についても分析します。さらに調査結果から、青森公立大学のキャンパスライフをより楽しくするための提言を作成します。		
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕</b> 社会調査には大きく分けて、社会観察・インタビュー・ドキュメント分析・アーカイブ分析などの「質的調査」と、調査票を用いた収集されたデータを数値化して分析する「量的調査」の2種類に分かれます。この科目は後者の学習に重きを置き、前者については主に他の演習科目で学んでいただきます。 量的調査には様々なテクニックがありますが、これを知らなければ受講生が将来、調査を発注する立場になった時に大いに苦労します。不適切な調査結果に基づく誤ったプランを企画したりすることがないよう、この必修科目でしっかり学んでください。		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> 最終的には、受講生が自分自身で基本的な統計分析を行い、客観的な調査結果に基づく提言を作成できるようになることを目指します。中間目標としては、受講生が自分自身で質問項目を作成し、調査票を作成できるようになることを目指します。		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> 教員による解説を必要最小限に抑え、学生自身によるテキストの読み込みに重点を置き、学生相互の支え合いによる学習法を導入します。主体的な学習がなければ統計学は身につかないからです。		
<b>〔教科書〕</b> 小宮あすか・布井雅人『Excel で今すぐはじめる心理統計—簡単ツール HAD で基本を身につける—』 講談社、2018 年、2,800 円＋税		
<b>〔指定図書〕</b> 向後千春・富永敦子著、『統計学がわかる—ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学—』、 技術評論社、2016 年、1,680 円＋税		
<b>〔参考書〕</b> 神田善伸著、『初心者でもすぐにできるフリー統計ソフト EZR で誰でも簡単統計解析』、南江堂、2015 年、4,104 円 神田善伸著、『EZR でやさしく学ぶ統計学～EBM の実践から臨床研究まで～(2 版)』、中外医学社、2015 年、4,968 円		
<b>〔前提科目〕</b> なし		
<b>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</b> 中間レポート(40 点) 自分および他の受講生の質問項目案を検討し、調査票を作成します。 期末レポート(60 点) 統計分析の結果をまとめ、これに基づく大学生活の環境改善案を作成します。		

**〔評価の基準及びスケール〕**

中間および期末レポートについて、それぞれ5段階評価を行います。

5点:非常に優れている、4点:優れている、3点:及第点である、2点:劣っている、1点:非常に劣っている、0点:課題に答えていない、提出しない

中間レポートは「5点×8=40点」、期末レポートは「5点×12=60点」と計算します。

**〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕**

教員としては、フリーウェアの統計ソフト「HAD」と「EZR」の操作法の懇切丁寧な解説に力を入れます。

しかし、このソフトウェアは受講生が無料でダウンロードし、自宅で使用することが可能です。

ひな鳥のように口を開けて親の帰りを待つのではなく、自分自身で技能を習得する姿勢を求めます。

**〔実務経歴〕**

なし

**授業スケジュール**

第1回	テーマ(何を学ぶか): 統計の必要性、HADの準備 内 容: この科目の目的と学び方を理解する  教科書 第0章・第1章
第2回	テーマ(何を学ぶか): 質問紙の作成 内 容: 質問文、選択肢、尺度水準の作成法を学ぶ  教科書 第2章
第3回	テーマ(何を学ぶか): 記述統計 内 容: データの分布、代表値、散布度を学ぶ  教科書 第3章
第4回	テーマ(何を学ぶか): 推測統計と統計的検定 内 容: 全数調査と標本調査の性質を学ぶ  教科書 第4章
第5回	テーマ(何を学ぶか): カイ2乗検定(その1) 内 容: クロス集計を学ぶ  教科書 第12章
第6回	テーマ(何を学ぶか): カイ2乗検定(その2) 内 容: クロス集計をより深く学ぶ  教科書 第12章
第7回	テーマ(何を学ぶか): t検定 内 容: 対応のある検定と対応のない検定を学ぶ  教科書 第5章
第8回	テーマ(何を学ぶか): 1要因分散分析(その1) 内 容: 3グループ以上の平均を比較する  教科書 第6章
第9回	テーマ(何を学ぶか): 1要因分散分析(その2) 内 容: 1要因分散分析をさらに深く学ぶ  教科書 第6章

第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):2 要因分散分析 内 容:主効果と交互効果を理解する</p> <p>教科書 第7章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):相関とその検定 内 容:相関係数の分析方法を学ぶ</p> <p>教科書 第8章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):単回帰分析 内 容:散布図と回帰分析の機能を学ぶ</p> <p>教科書 第9章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):重回帰分析 内 容:多変量解析の方法を学ぶ</p> <p>教科書 第10章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):主成分分析と因子分析 内 容:データの要約方法と潜在的な因子の分析法を学ぶ</p> <p>教科書 第11章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポートの作成 内 容:様々な分析手法の的確な使い分け方を学ぶ</p> <p>教科書 使用しない</p>
試験	レポート提出で代用します